



第 18 回 例会 報告 (11 月 17 日)

【 出 席 報 告 】

・ 会員数	54 名	・ 出席数	34 名	・ 欠席数	20 名
・ 当日出席率	70.45%	・ 前々回修正出席率	100%		

< 欠席会員 > 藤田、檜垣(巧)、平尾、冠、小堀、桑森、松木、光藤、越智(務)、尾越、竹田、田中、吉田

[免除会員] 青野、原田、門田、金森、松本、村上、八木

<10/27 欠席補填>(11/1 新居浜南)村上(裕) (11/7 今治北)藤田、檜垣(巧)、檜垣(俊)、菅、川上、小堀、桑森、竹田、田中、吉田

幹事報告・12月22日(木)18:30より、今治プラザホテル2階レストランPepeにて忘年夜間例会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・村上裕一会員：我が家では娘の誕生日が私の一週間後のため、どうしても娘中心の誕生祝いになってしまいます。今年は小堀先生がわざわざ私の誕生祝いを開いてくれて、吉良先生の飛び入りもあり楽しい思いをしました。ありがとうございました。

ロータリー財団委員会アワー

渡邊道信会員『ロータリー財団の使命』：ロータリアンが世界の貧しい人たちの健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成すること(ロータリー《以後Rとします》財団創設と沿革)を目的とし、1917年6人目のRI会長アーチ・C・クランフがロータリー基金の創設をよびかけました。このとき語られた「世界でよいことをしよう」という言葉は、現在R財団の標語となっています。1928年R基金は法人化しR財団に衣替えしました。1947年ロータリーの創始者であるポール・C・ハリスの死を悼み世界中より100万ドルを超える寄付が寄せられました。これを資金に18人の大学生に奨学金を贈ったのが、国際親善奨学金制度の始まりでした。1965年GSE(研究グループ交換)、マッチング・グラント。1978年保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラム。1985年ポリオ・プラスプログラム。2000年CAP(地域社会援助プログラム) 地区補助金。2002年平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター。このようにR財団は多くのプログラムを生み出しました。『未来の夢計画』：1965年から2000年までの35年間で、1万件であったマッチング・グラントは、2000年から2004年の4年間で1万件を超えました。小額プロジェクトの増加は、補助金を上回る経費と膨大な事務量を生じ、人的対応が追いつかず持続的効果も望めないなど多くの問題点が指摘されました。そこで、R財団は2005年「未来の夢計画」委員会を発足させ、R財団100周年(2017年)に財団がいかにあるべきかの検討を始めました。その骨格は プログラムと運営の簡素化 R財団が自分たちの財団であることを自覚し、身近な存在にすること 世界的目標と地元の目標の両方を果たす資金を提供することです。プログラムの簡素化のため6つの重点分野に集約しました。 平和と紛争予防、紛争解決 疾病予防と治療 水と衛生設備 母子の健康 基本的教育と識字率向上 経済と地域社会の発展です。現在は移行期ですが、補助金は「新地区補助金」DDF(地区財団活動資金)の50%までを年に一度申請できるものと、「グローバル補助金」6つの重点分野に関連した3万ドル以上の比較的大規模で長期的なプロジェクトの支援になります。詳細はロータリーの友11月号横組み14-16ページをご覧ください。



< ビジター > 今治南 RC 長野司様 < 港湾サービス >、今治北 RC 義野清昭様 < 建築設計 >

次 回 例 会 (11 月 24 日)

【 職 業 奉 仕 委 員 会 ア ウ ー 】

< 会員誕生日祝 >	渡邊 道信氏 (11/26)	村上 敬朋氏 (11/29)		
< 結婚記念日祝 >	青野 賢治氏 (11/24)	松本 篤氏 (11/28)	矢野 暢生氏 (11/29)	
< 入会記念日祝 >	越智 務氏 (11/24)	高木 幹男氏 (11/25)	青野 賢治氏 (11/26)	
	青野 明高氏 (11/26)			

{ 笹 }